平成 31 年 1 月 25 日

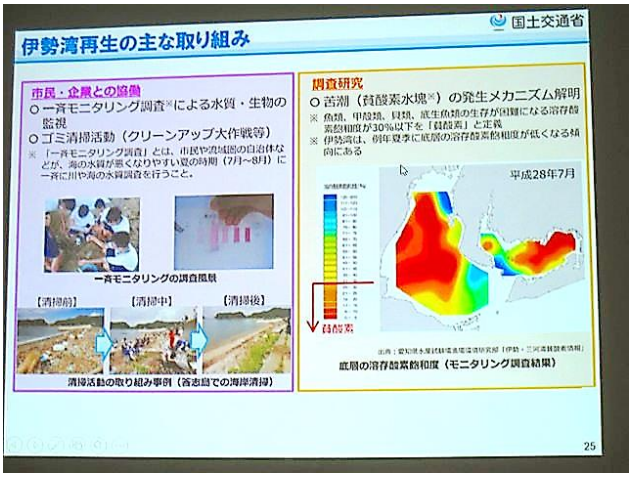
# 第２回講演会報告

（伊勢湾についての勉強会）

広報担当 谷田耕三

1 月 23 日、ナディアパーク市民活動推進センターにて第 2 回講演会を開催しました。
参加者は 44 名(32 期生 2 名含む)でした。
講師は国交省中部地方整備局港湾空港部 海洋環境・技術課長 田村誠氏です。

海洋環境･技術課は伊勢湾流域の水質や生物環境の情報の共有化･発信を業務としており、本日は港湾空港部の概要と環境への取り組みについて話していただきました。

担当する港湾は清水港、名古屋港、三河港、四日市港で、我が国の重要な産業である自動車の輸出では名古屋港と三河港で全国の約 5 割を取り扱っています。
又、名古屋港は総取扱貨物量、輸出額、貿易黒字額が全国第 1 位でもあります。
このような位置をある港湾を環境面から守るために行っている方策として
大型浚渫兼油回収船「清龍丸」、海洋環境整備船「白龍」の配備によりごみや油の回収と環境モニタリングを行っています。市民参加の再生活動として、考える会も行っている一斉モニタリング調査、ごみ清掃活動(答志島クリーアップ大作戦等)があり、河川の水質の改善によって生物の増加などの改善が見られています。一斉モニタリングのアンケート調査でも水の色がきれいになったとの回答が多くなっています。

これからの目標は「伊勢湾の環境基準の目標を目指し、多様な生物が生息・生育する、人々が安全にふれあえる、美しく健全で活力のある伊勢湾の再生」を目指すとなっております。
堀川の水が流れ込む最終地、伊勢湾についていろいろ知ることができました。